

研究の仮説	日常的に何気なく接してきた天気予報などの情報について話し合えば、情報はわたしたちの生活と深く関わっていることに気付き、積極的に調べようとする意欲が高まるであろう。
-------	---

1 単元名 情報化した社会とわたしたちの生活

2 目標

- 情報とわたしたちの生活との関わりに関心を持ち、意欲的に調べるとともに、どのように情報を活用していけばいいかを考え、有効に活用しようとしている。 (社会的事象への関心・意欲・態度)
- 情報とわたしたちの生活との関わりについて、学習問題を考えるとともに、情報を発信する側の役割や責任の大きさ、情報を受け取る側の正しい判断の必要性などについて考え、表現することができる。 (社会的な思考・判断・表現)
- 情報とわたしたちの生活との関わりについて、各種の資料を活用したり調査をしたりして必要な情報を集め、情報が生活に与える影響等を読み取り、まとめることができる。 (観察・資料活用の技能)
- 情報がわたしたちの生活に大きな影響を与えていることや、情報を発信する側の役割や責任の大きさ、情報を受け取る側の正しい判断の必要性などについて理解することができる。 (社会的な事象についての知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 児童の実態(男子14名, 女子15名, 計29名)

<情報に関するアンケート>

平成24年11月12日 29名実施

「情報」はどんなものか。 (自由記述・複数回答)	ニュース(災害や事件・事故のこと) 14名 新しいこと・知らなかったこと(を知る) 10名 社会や世界で起きていること 10名 おしらせ 3名 伝えるもの 1名 分からない・無回答 5名
何から情報を得ているか。 (選択・複数回答)	テレビ 28名 新聞 13名 インターネット 10名 ラジオ・カーラジオ 3名 ちらし 2名 雑誌 2名 その他(本・先生・友達・親・携帯電話・黒板) 各1名
どんな時どんな情報を必要としたか。(自由記述・複数回答)	震災の時の余震や他の地域の様子等 9名 授業で分からないことを調べる 7名 地震の震度 4名 台風が近い時の気象情報 4名 行事のときの天気 3名 情報が必要だったことはない・無回答 8名
1日の平均テレビ視聴時間	~1時間 2人 1~2時間 12人 2~3時間 10人 4時間以上 5人

アンケートの結果から、「情報」のとらえ方には個人差があるが、約半数が「ニュース 情報」だと思っている。様々な情報伝達手段が存在する中、情報はテレビから得ている児童が圧倒的に多い。テレビ視聴時間も長く、児童の生活にテレビは欠かせないことを改めて感じる。また、情報を必要とするのは主に大人で、自分たちには必要がなく、身近でないと感じている児童が多い。多種多様な情報や発信元があることに気付いている児童もいるが、個人差がある。また、ほとんどの児童にとって情報は受け取るもので、発信する側にもなりうる意識はない。

話し合うことについては、自分の考えと比べながら聞いたり、根拠を明らかにして話したりすることができる児童がいる。全体の前では自信がもてないとあまり話せない児童も、グループでの話し合いでは考えを伝えようとする事ができる。

(2) 教材観

わたしたちは、日々たくさんの情報に囲まれて生活している。あらゆるメディアから得られる大量の情報の中から自分にとって必要なものを取捨選択し、生活をよりよくしようとしている。しかし、様々な情報に振り回されたり、個人情報漏れやネット犯罪等の被害にあったりすることもあり、大きな社会問題となっている。ますます発展し続ける情報化社会において、情報とうまく付き合っていく能力は、大切な「生きる力」の一つであると考えます。

本単元では、様々な情報に囲まれた生活を見つめ、情報がどのように自分たちの生活に影響を与えているかを考え、情報に対して適切な判断をしたり、望ましい行動をとったりしようとする力や態度を身につけることをねらいとしている。

小単元「情報産業とわたしたちの暮らし」では、放送局は情報をどのように送っているのかを調べ、情報を発信する側の役割や責任の大きさ、情報を受け取る側の正しい判断の必要性などについて考えさせる。また「社会を変える情報」では、情報ネットワークによってわたしたちが受けている公共サービスが便利になっていることを学習する。これらをふまえて、「情報を生かすわたしたち」では、情報を有効に活用することが大切であることを考えるとともに、様々な情報に対して適切に判断し、望ましい行動をとろうとする能力や態度を身につけられるようにすることをねらいとしている。

(3) 指導観

情報は、わたしたちの生活に深く関わり、様々な影響を与えているが、そのことに気付いている児童は少ない。そこで情報を児童に意識化させ、より身近に感じさせるために、児童の生活に密着した事柄を取り上げるようにする。導入では、誰もが日常的に目にしている天気予報をきっかけとして情報について考えさせ、情報は自分たちの生活と深く関わり、身近なものであることに気付かせたい。また、テレビは児童にとって大変身近で、生活に欠かせないものとなっている。テレビ番組の便利な点や問題点も考えさせ、情報に囲まれた生活の中では、情報をうまく利用するとともに、多くの情報から自分が必要な情報を選別し、その確かさについて自分で判断する必要があることを、実感をもって考えられるようにしたい。

そのために、単元を通して、話し合う場を設定していく。まず自分の考えをまとめ、グループ等で話し合うことで、考えを深めたり広めたりできるようにしたい。

4 本時の指導

(1) 目標

- 天気予報などの情報は自分たちの生活と深く関わっていることに気付くことができる。(社会的な思考・判断・表現)
- 情報と生活との関わりに関心を持ち、これから情報について積極的に調べていこうとしている。

(社会的な事象への関心・意欲・態度)

(2) 準備・資料 新聞のテレビ欄・情報番組の画面の写真・ニュース番組構成表

(3) 展開

学習内容・活動 (学習形態・時間)	○指導上の留意点 ◎評価
<p>1 情報について知る。(全体・3分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑誌・パソコン等、いろんなものから情報を得ていそうだ。 ・テレビ放送から情報を得ることが多い。 <p>2 本時の学習課題を知る。(全体・2分)</p> <p>課題 テレビ放送で、何の番組が多いのだろう。</p> <p>3 テレビ番組を調べる。</p> <p>(1) 何の番組が多いか調べる。(グループ・15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気予報が多い。特に朝が多い。 ・朝6時から10時までに7回も天気予報をやっている。 ・天気予報の番組でなくても、午前中はずっと画面の左上に地域の天気や降水量が出ている。 ・こんなにたくさん天気予報を放送しているのは、なぜだろう。 <p>(2) 天気予報が何回も放送される理由を考える。(全体・10分)</p> <p><学生・会社員> 朝の放送が多いから、出かけるとき、コートがあるか、傘をもつかを決めるため。</p> <p><主婦> 午前中の番組にずっと小さい天気予報が出ているから、洗濯物を外に出していいかを判断するため。</p> <p><漁師> 漁業の勉強の時、漁師さんは天気予報を見て漁に出るかを決めると聞いた。</p> <p><農家の人> 農家の人、天気によりその日の作業を決めている。</p> <p>(3) 天気予報以外に放送が多い番組を調べる。(全体・5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気予報以外にニュース番組も多い。→ 情報を伝える番組 <p>4 本時のまとめをする。(個人・10分)</p> <p>まとめ テレビ放送は、天気予報やニュースなど情報を伝える番組が多い。その理由は、たくさんの人の生活や仕事と密着しているから。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報について、もっと知りたいことや調べたいことを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報とは「ある物事や内容についての知らせ」であることを、具体的な例を挙げて教える。 ○ 情報を得る方法にも目を向けさせる。 ○ 新聞のテレビ欄等から、天気予報の放送回数が特に多いことに気付かせる。毎日誰もが接している、身近な情報である天気予報に目を向けられるようにする。 ○ 以下のようなことに気付けるような資料を用意したり、生活経験から気付いている子のつぶやきや発言を取り上げたりする。 <ul style="list-style-type: none"> ・天気予報は、午前中、特に朝に放送が多い。 ・ニュース番組内で必ず天気予報を放送する。 ・午前中の番組では、画面の左上に、地域ごとや時間ごとの気象表示をずっと流している。 ・リモコンのdボタンをおすと、いつでも、限定された場所(水戸市)の時間ごとの天気と降水量がすぐに見られる。 ・洗濯指数・お肌の乾燥指数・花粉指数・紫外線指数などの情報も知らせている。等 ○ 自分自身や家族が天気予報を必要とするときを考えたり、既習事項を想起させたりさせる。 ◎ 天気予報の放送回数が多い理由等を考え、情報は自分たちの生活と深く関わっていることに気付いている。(ノート・発表) ◎ 情報と生活との関わりに関心を持ち、天気予報やそれ以外の情報について、もっと知りたいことや調べたいことを進んで考え、これから情報について積極的に調べていこうとしている。(ノート・観察)

5 板書計画

<p><u>情報</u>化した社会とわたしたちの生活</p> <p>情報とは…ある物事や内容についての知らせ</p> <p>テレビ放送で、何の番組が多いだろう。</p> <p>一番多いテレビ番組・・・<u>天気予報</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・NHK 朝5時から10時までに7回も ・画面の左上・・・お昼までずっと水戸市の天気・降水量 ・洗濯指数・花粉指数・お肌の乾燥指数(夏：紫外線指数) <p>→季節に合わせて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ放送・・・見たいときにいつでも <p>水戸市の時間ごとの天気・降水量</p> <p>1日で 天気予報を こんなにたくさん!</p>	<p>◎天気予報が多い理由</p> <p><学生・お勤め> ・かさを持つか・コートを着るか</p> <p>・遠足に行けるかどうか</p> <p><お母さん> ・洗濯物やふとんを干すかどうか</p> <p><漁師> ・海の波やしけを確かめる</p> <p><農家の人> ・苗植えにいい天気か</p> <p>放送が多いのは、天気予報だけ?</p> <p>→ ニュース番組も多い 情報を伝える番組</p> <p>テレビ放送は、天気予報やニュースなど、情報を伝える番組が多い。その理由は、多くの人の生活や仕事と密着しているから。</p>
---	---

研究の仮説	情報化社会の中で、誤った情報が私たちの生活にあたる影響について話し合えば、正しい判断の必要性について考えたことを適切に表現できるであろう。
-------	---

1 単元名 情報化した社会とわたしたちの生活

2 目 標

- 情報とわたしたちの生活との関わりに関心を持ち、意欲的に調べるとともに、どのように情報を活用していけばいいかを考え、有効に活用しようとする。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 情報とわたしたちの生活との関わりについて、学習問題を考えるとともに、情報を発信する側の役割や責任の大きさ、情報を受け取る側の正しい判断の必要性などについて考え、表現することができる。
(社会的な思考・判断・表現)
- 情報とわたしたちの生活との関わりについて、各種の資料を活用したり調査をしたりして必要な情報を集め、情報が生活に与える影響等を読み取り、まとめることができる。
(観察・資料活用の技能)
- 情報がわたしたちの生活に大きな影響を与えていることや、情報を発信する側の役割や責任の大きさ、情報を受け取る側の正しい判断の必要性などについて理解することができる。
(社会的事象についての知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 児童の実態 (男子 13名, 女子 14名, 計 27名)

<情報に関するアンケート>

平成 24 年 11 月 5 日 27 名実施

項 目	結 果			
あなたが情報を得ているものは何ですか。 (複数回答)	テレビ	24人	新聞	10人
	インターネット	11人	ラジオ	3人
あなたは1日どれくらいテレビを見ますか。	見ない	0人	0~30分	2人
	2時間	10人	30分~1時間	5人
			3時間以上	10人
テレビで知りたい情報が流れていたとき、インターネットや本などでも同じことを調べてみようと思いますか。	思う	15人	主な理由	もっと詳しく知りたいから
	思わない	12人		分かったことをもう一度調べる必要がないから

アンケートからは、児童が毎日テレビから情報を得ていることが分かる。また、テレビの情報からさらに追究したいという意見からも、テレビで流れた情報を疑うという概念はないと思われる。そして、分かったことをもう一度調べる必要を感じていないという意見からは、興味関心の知的な欲求はほぼ1つの情報により満たされていることが分かる。したがって、テレビの情報にも間違いがあるということ気付けば、児童にとって問題意識が高まると考えられる。

(2) 教材観

わたしたちは、日々たくさんの情報に囲まれて生活している。あらゆるメディアから得られる大量の情報の中から自分にとって必要なものを取捨選択し、生活をよりよくしようとしている。しかし、様々な情報に振り回されたり、個人情報漏れやネット犯罪等の被害にあったりすることもあり、大きな社会問題となっている。ますます発展し続ける情報化社会において、情報とうまく付き合っていく能力は、大切な「生きる力」の一つであると考えられる。

本単元では、様々な情報に囲まれた生活を見つめ、情報がどのように自分たちの生活に影響を与えているかを考え、情報に対して適切な判断をしたり、望ましい行動をとったりしようとする力や態度を身につけることをねらいとしている。

小単元「情報産業とわたしたちの暮らし」では、放送局は情報をどのように送っているのかを調べ、情報を発信する側の役割や責任の大きさ、情報を受け取る側の正しい判断の必要性などについて考えさせる。また「社会を変える情報」では、情報ネットワークによってわたしたちが受けている公共サービスが便利になっていることを学習する。これらをふまえて、「情報を生かすわたしたち」では、情報を有効に活用することが大切であることを考えるとともに、様々な情報に対して適切に判断し、望ましい行動をとろうとする能力や態度を身につけられるようにすることをねらいとしている。

(3) 指導観

私たちのまわりは情報メディアからの情報で溢れていること、その情報により、わたしたちの生活スタイルや行動が影響されていることを実感することで、情報をどのように扱うべきかについての問題意識をもたせたい。

テレビから納豆ダイエットの誤った情報を得た視聴者がとった行動は、私たちの情報活用の軽率さという情報化社会の1つの課題を呈していると考えられる。その誤った情報資料をもとに、経済的、精神的な問題に発展することもある影響について話し合うことを通して、情報を受け取る人によって、同じ情報でも受け取り方が異なることや、情報を適切に扱う必要性について考え、情報を適切に選択・判断して活用する力を高めさせたい。

そして、自分たちの生活を振り返ることで、自分がふれている情報メディアとの付き合い方やこれからの情報の扱い方に生かすことができるようにしていきたい。

4 本時の指導

(1) 目標

- 情報を受け取る側の正しい判断の必要性について、考えたことを適切に表現することができる。

(社会的な思考・判断・表現)

(2) 準備・資料

誤報道のテレビ映像 (納豆ダイエット), 謝罪の映像写真, 報道被害の状況資料

(3) 展開

学習内容・活動 (学習形態・時間)	○ 指導上の留意点 ◎ 評価
<p>1 本時の学習課題をつかむ。 (全体・3分)</p> <p>(1) 私たちが活用している情報メディアを確認する。</p> <p>(2) 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>① 私たちは、情報をどのように活用していけばよいのだろう。</p> </div> <p>2 資料を見て話し合う。 (全体・15分)</p> <p>(1) テレビ映像を途中まで見て感想を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納豆は、やせるのに効果があるんだ。 ・明日から納豆食べようかな。 <p>(2) 続きの映像と報道被害の資料を見て、感想を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビでやっていたのだから本当だと思った。 ・うそをついていて許せない。 ・もともと食べないから、私はだまされなかったよ。 <p>(3) 納豆ダイエットの情報を見たときに、受け取る側はどうすればよかったのかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流されない ・少しはうたがう ・家族に相談する ・インターネットで調べる ・自分には必要ない <p>3 情報をどのように活用していけばよいか、考えをまとめ話し合う。 (個人→全体・20分)</p> <p>(1) ノートに考えを書く。</p> <p>(2) 発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全部を信用しない ・流されない ・正しい情報か考える ・根拠を確認する ・必要な情報だけ使う ・冷静に行動する ・他の情報と比べる <p>4 本時のまとめをする。 (全体・5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>② 情報は、「選択」、「確認」、「判断」して活用することが大切である。</p> </div> <p>5 本時の振り返りをする。 (全体・2分)</p>	<p>○ 児童が体験している情報の活用法を問うことで、情報と行動が関連していることに気付けるようにする。</p> <p>○ 「納豆ダイエットの効果がある」と思われる情報が流れているところで映像を止めることで、情報が購買意欲につながったことを感じられるようにする。</p> <p>○ 続きの「誤った情報であった」という映像を見て、情報によって、気持ちが左右されたことに気づけるようにする。</p> <p>○ 納豆を食べない人にとっては、この情報に左右されていないことをつかむために、納豆が嫌いな児童を意図的に指名する。</p> <p>○ 情報を送る側の責任に偏るときには、既習の「情報の送り手は編集会議などで誤りがないか確認している」ことや「情報が役立つ経験」を想起させることで、情報を受け取る側の課題について着目できるようにする。</p> <p>○ なぜ、そのように考えたのか理由を交えて話し合いができるようにする。</p> <p>◎ 情報を受け取る側の正しい判断の必要性について、考えたことを適切に表現している (発表, ノート)</p> <p>○ 振り返りのなかで、自分の生活体験から情報を効果的に活用できた例や、失敗例などを挙げさせ、情報の活用の大切さを感じられるようにする。</p>

5 板書計画

(役立つ情報)

- ・天気予報
- ・安売り
- ・おいしいもの

テレビの情報 → まちがいもある

納豆の
写真

↓

- ・食べようかな
- ・買いに行こう

ダイエット
に効果あり

間違った
情報だった
ことを
報道する
写真

謝罪映像
の写真

- ・うそつき
- ・買ったかったのに
- ・信じなきゃよかった
- ・お店の損失

報道被害

<どうすればよかったのかな?>

- ・流されないで考える
- ・ちょっとは、うたがう
- ・おうちの人と相談
- ・インターネットでも調べる
- ・自分には必要ない

③ 情報は、「選択」、「確認」、「判断」して活用することが大切である。

どうしよう?

本当?

必要?

次	活動の流れ	評価計画
第1次	<p><第1時>○テレビ放送で、どんな番組が多いか考える。(1組本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースや天気予報が多い。・天気予報を見て服装などを決める。 ・天気やニュース等の情報は、人々の生活と密着しているから、たくさん放送している。 <p><第2時>○学習問題を設定する。</p> <p>問 情報はどのように送られ、わたしたちはその情報をどのように生かしているのだろう。</p> <p><第3時>○ テレビ放送からどんな情報を得ているかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ局は見ての人にとって必要な情報が必要なときに届くようにしている。 ・テレビ局はどのように情報を送っているのかな。 <p><第4時>○ 放送局からどのように情報が提供されているか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュース番組は公平・公正さを大切にし、「早く、正しく、分かりやすく」伝えるために工夫して作られている。 ・テレビ局は視聴者の立場に立ち、視聴者の生活に合わせてテレビ番組を編成している。 ・去年地デジになった。どんないい点があるのかな。 <p><第5時>○ 地上デジタル放送について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け取るだけでなく、見る側も発信でき、双方向の情報交換ができる。 ・テレビ以外のメディアはどうなのかな。 <p>○ 様々なメディアの特徴について調べてまとめ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアにはいろいろある。どんなことに気をつけられようのかな。 <p><第6時>○誤情報のテレビ映像から情報の受け手が気をつけることを考える。(2組本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・番組の不確かな情報のために、視聴者・消費者・生産者が混乱した。 ・情報の受け手が、正しい情報が判断しなくてはならないんだな。 <p>ま わたしたちは、様々なメディアから多くの情報を得て、影響を受け、日常生活の多方面で活用している。その際、発信する側の責任と、受ける側の正しい判断が求められる。</p>	<p>◇ 情報は自分たちの生活と深く関わっていることに気付き、情報について調べようとする。(関・意・態)</p> <p>◇ テレビからたくさんの情報を得ていることに気付き、学習問題を考え、表現している。(思・判・表)</p> <p>◇ 放送局からどのように情報が提供されているか資料を活用して調べ、視聴者の立場に立った工夫をしていることを読み取りまとめている。(技能)</p> <p>◇ メディアにはそれぞれの特徴があり、わたしたちは生活の中でそれらを使い分けて活用していることを理解している。(知・理)</p> <p>◇ 情報を受ける側が気をつけることを考え、冷静な情報の選択・判断や活用が大切であることを表現している。(思・判・表)</p>
第2次	<p><第7～8時>○ 生活の中にはインターネットやメールなどの情報があふれていることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PCや携帯電話で情報を受け取っている。・図書館で蔵書検索をした。 <p>問 わたしたちはくらしの中でどのように情報ネットワークを利用しているのだろう。</p> <p><第9～11時>○ 総合病院で情報が電子化されていることを調べ、その利便性について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・待ち時間が少なくなった。・カルテを離れた場所で同時に見られる。 ・離れた地域でも医師と妊婦さんが連絡を取り検診をしているところもある。 ・サービスは向上したが、個人情報の漏れなど心配なこともある。 <p>ま 情報ネットワークは公共のサービスの向上に利用され、生活の向上に大きな影響を及ぼしている。</p>	<p>◇ カルテの電子化により、病院での医療サービスが向上していることを理解している。(知・理)</p> <p>◇ 遠隔医療や在宅医療について資料を効果的に活用して調べ、それまで困難であったことを可能にしていることを読み取りまとめている。(技能)</p>
第3次	<p><第12時>○ 増えてきている広告の苦情について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CMで見た商品を買うことがある。・いらないダイレクトメールが届くこともある。 ・安売りの広告を見て買い物に行ったのに、かえって高い買い物をしてしまった。 <p>問 わたしたちはどのようにすれば情報を上手にいかすことができるのだろう。</p> <p><第13～14時>○ 携帯電話やインターネットのいい点・悪い点を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話やインターネットは便利だが、気をつけなくてはならないことがありそうだ。 ・どんなことに気をつけられようのかな。 <p><第15時>○携帯電話やインターネットの使い方気をつけなくてはならないことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報や他人を傷つける表現などに気をつけて、マナーを守らなくてはならない。 ・送り出す情報はよく確かめて、責任を持たなくてはならない。 <p><第16～17時>○情報活用について自分の考えをまとめ、ホームページにのせてみよう。</p> <p>ま わたしたちは様々な情報を有効に活用しながら生活する必要がある、情報を受けるだけでなく、送り手としても、責任ある行動を取らなくてはならない。</p>	<p>◇ 生活の中での情報の活用に関心をもち、学習問題を考え表現している。(思・判・表) (関・意・態)</p> <p>◇ グラフ等の資料から、情報化の進展によって生じている問題点を読み取りまとめている。(技能)</p> <p>◇ 情報を選んだり発信したりする際に注意することを考え、メディアリテラシーを身につけ責任ある行動をとることの大切さを考え表現している。(思・判・表)</p>